

遺伝子機能解析分野

平成23年1月-23年4月の活動と実施行事

<設備・機器の修理や新設>

平成23年3月25日より主な共同利用機器のオンライン予約を開始しました。またこれに伴い、**website** を全面更新しました。機器一覧、申請書類ファイル、セミナー記録、技術講習会活動記録、ニュースなどが掲載されています。ぜひご活用ください。

<http://shimane-u.org/index.htm>

機器のオンライン予約を行うためには、利用代表者のユーザーID およびパスワードが必要です。ユーザーID およびパスワードの登録につきましては遺伝子機能解析分野事務までお問い合わせください。

現在、DNA シークエンサー、リアルタイム定量 PCR、アミノ酸分析装置、共焦点レーザー顕微鏡、遺伝子銃、分析用高速クロマトグラフ、マイクロプレートリーダー（蛍光・発光）がオンライン予約対象機器となっています。他にもオンライン予約化を希望される機器がございましたらご連絡ください。

ライカ共焦点蛍光レーザー顕微鏡に 100 倍の油浸レンズが導入されました。微生物の細胞などの微細な構造の観察にも十分対応できますので、積極的にご利用ください。

遺伝子機能解析分野棟 313 室設置のオリンパス落射実体顕微鏡 SVX16 に蛍光ユニットが装備されました。緑色蛍光（GFP など）と紫外蛍光（DAPI など）が観察できますので、ご利用ください。今後、赤色蛍光のユニットもアップする予定です。

<行事>

教育訓練を開催しました。

平成23年3月15日、4月14日

「放射線業務従事者再教育訓練」

オンライン登録利用説明会を開催しました。

平成23年3月15日

<セミナー開催>

第180回 平成23年1月18日

（第294回細胞工学研究会講演会）（第4回学生GPセミナー）

演題 植物免疫の分子機構—低分子GTPaseを介したDefensome複合体によるシグナリング
島本 功（奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科）

第181回 平成23年1月19日

(第295回細胞工学会講演会) (第5回学生GPセミナー)

演題 フロリゲン (花成ホルモン) の同定と新しい開花研究の展開

島本 功 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科)

第182回 平成23年2月2日

(第296回細胞工学会講演会) (第6回学生GPセミナー)

演題 植物の「おいしい」成分はどうやって作られどこに貯まるのか

矢崎一史 (京都大学生存圏研究所)